

<2024（令和 6）年度 第 26 期 事業報告>

特定非営利活動に係る事業

（１）こども・若者とその保護者などに対する相談・支援・居場所の提供・自立に関する情報提供

① 不登校支援

- ・日常的に不登校の電話相談やメール相談の対応を行い、寄せられた相談について法人内のプログラムや他の支援機関の紹介や丁寧なつなぎや対応を行った。
- ・6月、10月、2月には、無料の集中相談会を開催し、セミナーや個別相談をおこなった。
- ・横浜市教育委員会、南部学校教育事務所、地域の小学校・中学校・高校との連携を深め、義務教育の間に支援につなげることを意識して取り組んだ。
- ・神奈川県教育委員会主催の不登校相談会に参加し、団体紹介と個別相談の対応をおこない、後日、来所にもつながった。

日時 月～金 9:00～18:00
 場所 横浜市磯子区東町 9-9 3 階
 主な従事者人員 2 名
 対象者 青少年および保護者、関係者

② 新時代の不登校支援フリースペース【Kauri】かうり（2023 年 11 月開所）

- ・フリースペースを開所し、不登校の小・中・高校生世代が安心して過ごせる居場所を運営。
- ・保護者からの相談や、学校・関係機関と連携しながら、必要に応じたサポートをチームで行った。

日時 火・水・金 10:00～15:00
 場所 横浜市磯子区東町 9-9 3 階
 主な従業者人員 2 名
 対象者 小・中・高校生世代

③ よこはま南部ユースプラザ（なんぷら）（2008 年 11 月開所 法人選定 2023 年 4 月～2028 年 3 月）

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一次的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。

事業
の
報告

・活動の年間テーマを「一人（孤立）にさせない、抱え込まない。」とした。**支援者対象のなんぷら主催の南部地域若者支援連絡会**（3回開催）では、毎回40名以上の関係機関の方が参加。行政・学校関係・関係機関・NPO団体などが一同に集まり、顔の見える連携を図ることができた。また南部地域の各区で年に1回行うセミナーにおいても同テーマで、家族が孤立せず、必要な支援機関と連携して本人の支援をしていくことの大切さを伝えた。

・南部地域の**区役所専門相談**で区のこども家庭支援課、生活支援課との連携を行った。今後も区役所と連携しながら、不登校やひきこもりの社会参加が難しい若者やその家族の相談を受けていく。

・例年通り居場所は月曜～金曜 11時～19時まで開所。153名の登録があった。前年度160名より4.3%人数は減ったが、居場所利用は増加。令和5年度2,466名から令和6年度は2,719名、男女比は男性60%、女性40%で昨年度とほぼ同様だった。**年代は23～26歳が27%で最も多かった。**

講座・クラブ活動：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・無電源系ゲーム・なんぷらアフタヌーンティー・ちがいを楽しむかんたんアート・健康管理について・自分取り扱い講座・UVレジン・wii大会・大人の塗り絵・羊毛フェルト・映画観賞会・折り紙講座・クラフト講座・ちょこボラ・クレイフラワー講座・アメリカンイングリッシュ・カードゲームクラブ・ボッチャ大会・インターネット被害未然防止講座・職業興味検査

- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラムの実施。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくり
年間テーマ「一人（孤立）にさせない、抱え込まない。」
- ・南部地域若者支援連絡会(年3回)
2024年6月5日(木) 23団体 40名
2024年9月25日(水) 26団体 44名
2025年2月27日(木) 23団体 40名
- ・地域ユースプラザ施設長会議：年4回参加
- ・三機関連絡会：年2回参加
- ・なんぷら保護者交流会:毎月第4土曜日開催 年間参加者延べ85名
- ・区役所における引きこもり等の専門相談、セミナー＆相談会

＊専門相談

港南区7件、磯子区6件、金沢区16件、戸塚区24件、栄区4件 計57件

＊区役所セミナー＆相談会：

10月31日(木) 港南区 来場者17名 個別相談3件

9月18日(水) 戸塚区 来場者16名 個別相談4件

11月28日(木) 金沢区 来場者9名 個別相談3件

10月31日(木) 磯子区 来場者8名 個別相談3件

12月12日(木) 栄区 来場者8名 個別相談4件

来場者合計58名 個別相談合計17件

開所時間	月曜日～金曜日	11:00～19:00（居場所・相談室）
	土曜日	11:00～19:00（相談室のみ）
場 所	横浜市磯子区磯子3-4-23浜田ビル2 階	
主な従事者人員	9 名	
対象者	横浜市内にお住まいのおおむね15 歳～40 歳未満の若者 およびその家族	
開所日数	281 日	
来所者数	のべ4,204 名 1 日平均約 15 名(23 年度のべ 4,271 名 1 日平均約 15 名)	
居場所利用人数	のべ 2,719 名 (23 年度のべ 2,466 名)	
講座参加人数	のべ 3,016 名 (23 年度のべ 3,141 名)	
相談実績	面接相談	のべ859 件(23 年度のべ 790 件)
	電話相談	のべ 788 件(23 年度のべ 776 件)
	インターネット相談	のべ119 件 (23 年度のべ 115 名)
社会／就労体験事業参加者	のべ 2,898 名 (23 年度のべ 2,066 名)	

（２）経済的困窮を含めた家庭環境などに課題があり、社会的に困難な状況に置かれたこども・若者の支援

①子ども食堂「250 にこまる＋プラス」（2020 年 6 月スタート）

・コロナ禍の影響や見えない貧困、環境の変化などに「子ども食堂」という切り口で、**3つの「孤」（孤食、孤独、孤立）の解消**を目指し、**毎週金曜日に会食、お弁当配布**と形で実施した。

・最初に登録をしてもらい、専門の相談スタッフが話を聞くことで、一人一人の状況をしっかりと理解をして、保護者や学校との連携も取れる形で受け入れをおこなった。

・磯子区岡村のにこまるソーシャルファームでの野菜の収穫などの農業体験をおこない、食育の場にもなった。また、ファームから地元の野菜を仕入れて、子ども食堂の食材としても活用した。

・一時的な支援ではなく、社会全体の資源や地域の支援機関につないでいくこと、彼らが**支援する側から支援される側**になる機会にもつなげることを意識して取り組んだ。

・活動を応援してくださる方からの寄付金に支えられ、またフードバンクなどから食材の寄付をいただき、子ども達に還元することができた。

・磯子区ふれあい助成金、善意銀行、中央共同募金会助成から助成金を受け、活動を継続・充実させることができた。

日時	毎週金曜日	17:00～19:00（相談 15:00～）	全 53 回
場所	にこまる食堂（横浜市磯子区東町 9 番 9 号）		
主な従事者人員	2 名		
対象者	小学生・中学生・高校生世代		

(3) こども・若者の自立に関する情報提供

①団体の活動の情報発信

・団体の活動内容を広く知ってもらうため、ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。

日時 ホームページの更新は随時

場所 コロンブスアカデミー事務局

主な従事者人員 2名

対象者 不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、地域の関係機関・関係団体など

(4) 地域で子育てを支える場の提供・運営・情報提供

① 親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす (2011年4月開所)

・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場、誰かとつながれる場として運営をおこなった。

・情報提供や環境整備を行いつつ、いつでも来やすい広場作りを心掛けた。

・親のリフレッシュや用事、きょうだい児の行事、仕事の際に利用できる一時預かりを引き続き実施。次年度から仕事復帰・保育園を希望される方を中心にリピーターが多く、一昨年より60名・昨年度より40名ほど利用が増えた。必要な方が安心して預けられる場所の提供は継続してできている。また、子どもを預かるだけでなく、子どもの成長や家庭内の悩みについて相談できる場にもなっていた。

・親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティア講師として活躍していた。

・活動の様子や今後の予定をホームページ・SNS (Instagram) から情報発信を行った。

・幼稚園・保育園座談会、個別相談会を年4回行い、情報収集ができる場の提供をおこなった。磯子区の保育・教育コンシェルジュの方、先輩ママにも来ていただき、入園についての話や、先輩ママからのアドバイス・経験談を聞く機会も作った。

・今年度も、土曜日の午前中を年18回開所した。2回の父親育児支援講座や親子で参加できるプログラムを行い、家族で参加される方もおり、平日は保育園に行っているメンバーの利用にもつながった。

・同じフロアにある「ぼによ+」の小学生が乳幼児の面倒を見たり、夏には広場でのイベント「お話会」でペープサートや絵本の読み聞かせを行い、遊びに来ていた親子との交流も持てた。小学生の姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができ

ていた。「ぽによ+」との交流が、親子にとって発見や学びの場になっていた。

- ・近隣の中学校からの職業体験も2名受け入れた。0歳の子を抱っこしたり、1,2歳児と遊んだり、いろいろな体験ができた喜んでた。ママたちも温かく受け入れてくれた。「ぽによ+」OGの高校生もボランティアで参加し、親子と関わったり、目指している保育士の練習にもなっていた。

- ・磯子区の子育て講座～CAREプログラム～を区と連携して「くすくす」でも2回開催した。

- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との「いそごひろば連絡会」を4回開催。プラスの研修会として今年度も南部療育センター見学に参加し、前回とは違うスタッフが利用について詳しく知ることができた。つどいの広場のブロック会議でも、1回は研修会で言語聴覚士の講演があり、日頃の親子対応や運営に活かすことができた。

- ・地区別の子育て支援連絡会では、近隣の保育園、幼稚園と連携して「園庭で遊ぼう」というイベントを今年度も開催した。2園で開催があり、地域の支援団体として参加し親子と関わりひろば（くすくす）の紹介を行った。

- ・地域で気になる親子については、磯子区や中区の保健師と情報共有など連携を行った。親子が遊びに行ける場所として区からも情報提供をしていただいた。

日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

場所 横浜市磯子区東町9-9

主な従事者人数 5名

開所日数 220日

来所者数 1,709組3,610名 1日平均7.8組16.4名

(2023年度 1,546組3,348名/220日 1日平均7.0組15.2名)

一時預かり利用数 203件 計673時間(月平均16.9件56.1時間)

(2023年度 160人569時間/220日 月平均13.3件47.4時間)

連絡会 いそごひろば連絡会 全4回 2024年5月8日(水)・9月4日(水)・11月13日
2025年2月12日(水)※研修会・3月12日(水)

磯子区子育て支援連絡会 2025年1月27日(月)

根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 2024年6月21日(金)

C ブロック会議 全3回 2024年6月20日(木)・9月19日(木)

※研修会 2025年2月20日(木)

広場全体連絡会 全2回 2024年7月11日(木) 2025年3月5日(水)

一時預かり情報交換会 2024年12月6日(金)

② プレ教室ぽっかぽか (2011 年 5 月開所)

・就園前の 2～3 歳児のこども対象のプログラムを実施。スムーズに幼稚園や保育園に移行できることを目的に、「こどもだけで活動する経験」や「家庭ではできない体験」を意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。

・にこまるソーシャルファームで、6 月にじゃがいも堀り体験、11 月にさつまいも堀り体験も行った。6 月は、ぽによ+の親子や若者支援の家族の会メンバーとの交流もできた。

・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、保護者座談会も行った。自宅から参加の zoom でのオンライン交流会・座談会も 3 回実施し、交流の場を作った。保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、トイレトレーニングや友達との関係など、具体的な悩みについて話し合う場にもなっていた。また、ぽっかぽかでの普段の活動の様子も動画や写真で伝え、子どもたち同士の関わりや成長を見てもらうことができた。法人の活動（乳幼児～青年期の途切れのない支援）についても話して、子どもに必要な環境を作ってあげること、保護者が一人で抱え込まないことの重要性、保護者がつながることによって子どもを孤立させないことも伝えた。

・発達の気になる子には、子どものサポートだけではなく、様子を毎回伝えたり、母親の不安を聞くなど保護者のサポートを丁寧に行った。先輩ママにつないだり、関係機関との情報共有も行った。

・保護者からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、親から離れて同年齢の子ども達同士で楽しむ経験ができたこと、ぽっかぽかを楽しみにするようになり成長を感じられたことなど、参加してよかったという感想が多く、何よりぽっかぽかが保護者にとっても居場所になっていた、毎回大人と話ができることを楽しみにしていたという声をどの保護者からも聞かれた。

・ニーズの変化もあり、今年度でプレ教室ぽっかぽかは終了。次年度からは、子育てスポットくすくすで 2・3 歳児親子のサポートは継続していく予定。

開催日時 木曜日 10:00～11:30 全 30 回

主な従事者人数 2 名

登録人数 7 名（前年 10 名）

参加人数（実績） のべ 199 名（前年 267 名）

（5）地域のこどもの居場所の提供・運営

①金沢区青少年地域活動拠点（カナカツ）（2012 年 4 月開所 法人選定 2023 年 4 月～2028 年 3 月）

・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。

現在の場所に移転してから 3 年目となり、新たな地域や商店街・関係団体との連携も増えてきた。

・1 階フリースペース部分では駄菓子販売を行い、子ども達が居心地良く過ごせる場を提供した。ものづくり講座・カナカツイベントへの参加の促しも行い、体験の場の入り口としても機能した。また、週 1 回 2 階をキャンパスカフェ（自習室）として開放し、中高生世代が落ち着いた静かな環境で学習したり、ゆったり過したり出来るスペースとしての環境も整えた。

・フリースペースに来所する子ども達も一緒にイベントの準備をし、当日の運営も行った。すずらん通り商店街や地域の関係団体と共に地域の子どもの達を見守る体制を整えることができた。

・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の支援者を対象にカナカツ思春期セミナーを開催。講師にヘルスプロモーション推進センター（オフィス岩室）代表の岩室紳也氏をお招きし、「思春期のころと性～コロナを理由に見落とされてきたコミュ障の深刻さと対応方法～」をテーマにお話ししていただき、依存先（居場所）を複数作る ことの必要性を知ることができたと感想が多く寄せられ、またこのようなセミナーを開催してほしいという要望があった。（22 名参加）

・社会参加プログラム「中高生ボランティア体験（中高生のべ 168 名）」「第 9 回カナカツ美術展（159 名来場）」では近隣の中高生が多く参加してくれた。ボランティア体験では、毎月ボランティア DAY を設け、地域清掃や花壇の水やりボランティア、近隣の施設へ中高生手作りの作品をお届けした。また、金沢区民まつり「いきいきフェスタ」に参加し、出張カナカツ縁日の運営を中高生ボランティア中心に運営・出店できた。美術展では、高校生による運営会議・ワークショップを開催。また、イソカツとの美術展合同ワークショップも企画し、共同作品への理解や互いの作品を見ることでよい刺激になっていた。会場の設営や撤収、会期中の受付係は運営委員の高校生が中心となって活動することが出来た。今年度も、共同作品や美術作品の出展等、金沢区内の中学校・高校・金沢国際交流ラウンジ等とも、継続して連携した。

・イベントでは金沢区地域振興課主催の図書フェスティバルにおいて、中高生世代が企画した展示会をカナカツ内で行った。展示した本の人気投票を行う等も工夫をしながら行った。

・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、小中校長会・民児協での企画案内・南部地域若者支援連絡会への出席も行った。年度を追うごとに学校関係等地域資源からの連携の体制が得られるようになっている。

日時 火曜日・木曜日 15:00～20:00

土曜日 13:00～18:00

場所 横浜市金沢区谷津町 359（すずらん通り商店街内）

主な従事者人員 3 名

対象者地域の中高生世代

開所日数 147 日

利用人数 3,807 名 1 日平均約 26 名 （2023 年度 利用人数 3,092 名 1 日約 26 名）

④ 磯子区青少年地域活動拠点（イソカツ）（2017 年 11 月開所 法人選定 2022 年 4 月～2027 年 3 月）

・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場やさまざまな体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。

・フリースペースでは居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。また、地域の方をボランティア、講師に招き、フリースペースでものづくり講座などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。

・イソカツ運営委員会（中高生世代メンバー主体の会）では、縁日開催に向けて準備・運営や 1 月に開催した**第 7 回イソカツ美術展**の準備を行った。

・毎年、開催しているイソカツ美術展は、昨年度に続き根岸駅前モンビル6階にて開催。中高生世代の作品が122点集まり、会期中に、ワークショップも開催できた。（237名来場）

・磯子まつり（区民まつり）やいそごこどもまつりでは、中高生世代が中心となり縁日の出店を

行った。準備から当日の運営・片づけまで、みんなで協力しながら進めることが出来、充実した活動になっていた。

- ・夏休みや春休み期間中を活用し、中高生のボランティア体験を実施した。子育てスポットくすくす、放課後ドラマぽによ+での体験では、小さな子達やスタッフとの交流の中で、保育やイベント補助などを体験することができた。また今年度も継続して折り紙ボランティアを実施した。ケアプラザから高齢者宅に配達されるお弁当につけるメッセージカードや折り紙を作り、受け取った先の施設からはとても喜ばれていた。
- ・多世代交流イベントでは、洋光台のCCラボ、磯子区社会教育コーナー、根岸アートルミエールと連携し、中高生世代が中心となって企画・運営するものづくりイベントを行った。
- ・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の方を対象に**イソカツ思春期セミナーを開催**した。講師に坂本牧裕氏を迎え、『不登校はチャンスだ！～こどもの「学校へ行きたくない」に大人ができること』というテーマで自身の不登校経験談を話していただいた。（36名参加）
- ・近隣の中学校や高等学校に訪問し、校長会や専任会、青少年指導員、民児協ではイベントの周知や報告を行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、磯子区館長連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。

日時 水曜日・金曜日 15:00～20:00

土曜日 13:00～18:00

場所 横浜市磯子区磯子3丁目4番地23号 浜田ビル2階

主な従事者人員 3名

対象者 地域の中高生世代、地域の人たち

開所日 151日（フリースペース開所・活動日）

利用人数 4,184名 1日平均約28名（23年度 4,092名 1日平均約27名）

（6）放課後児童健全育成のための学童保育の運営

① 放課後ドラマ ぽによ+ （2009年4月開所 2015年自主運営に切り替え）

・自主事業として「おもしろい子（個）を育てる」をテーマに、安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。

・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた。

・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。

・今年度はこれまでの虫キャンプをリニューアルし、クレイジージャーニーとして石巻に23名の子どもたちを連れていき、海水浴や被災地体験などを実施。

夏休みの目玉イベントとして参加した子どもたち、保護者たちからとても良い反応をいただけた。今後も継続していきたい。

・ぽによ塾英会話と卓球クラブについては講師の都合がつかず、今年度は休止とした。

・保護者面談や説明会、交流会などで保護者の方たちとのコミュニケーションの機会を大事にし、信頼関係の構築に努めた。何か相談があった際は迅速に対応し、困りごとなどを相談しやすい関係づくりを心がけた。

日時 終日（必要に応じて対応）

場所 横浜市磯子区東町9-9 2階他

主な従事者人員 6名

対象者 横浜市内の年中児～小学生

開所日数 291 日

登録人数 92名(前年度92名)

登所人数

10,134名/278日（一日平均36.5名）

23年度登所人数 11,628名/292日（一日平均39.8名）

平日10,084名/247名（一日平均40.8名）

23年度平日 11,359名/243日（一日平均46.7名）

土曜日 50名/31日（一日平均1.6名）

23年度土曜日 269名/49日（一日平均5.5名）

ばによ塾

ピアノ 登録8名・のべ264名（33 回実施）

ロボット・プログラミング登録15名 のべ495名（33 回実施）

登録児童の所属学校

根岸小 69名・間門小 5名・杉田小 1名・浜小 1名・国大附属小 2名・滝頭小 3 名

磯子小 1名 ・港南台ひの特別支援学校 1

＊学年ごとの男女別登録人数

2024 年度（登録 92 名）

1 年 18 名（男児 8 名・女児 10 名）

2 年 18 名（男児 11 名・女児 7 名）

3 年 12 名（男児 6 名・女児 6 名）

4 年 11 名（男児 5 名・女児 6 名）

5 年 17 名（男児 14 名・女児 3 名）

6 年 16 名（男児 8 名・女児 8 名）

2023 年度（登録 92 名）

1 年 18 名（男児 11 名・女児 7 名）

2 年 14 名（男児 7 名・女児 7 名）

3 年 12 名（男児 5 名・女児 7 名）

4 年 20 名（男児 16 名・女児 4 名）

5 年 18 名（男児 9 名・女児 9 名）

6 年 9 名（男児 6 名・女児 3 名）

高 1 年 1 名（女児 1 名）

<2024 年度 主な行事> *大きな行事や行政との連携を中心に記載

4 月

2 日 (火) K2 春のスタートディ

5 日 (水) 磯子区館長連絡会 出席

13 日 (木) 戸塚高校定時制ガイダンス (事業説明)

21 日 (日) イースターイベント

22 日 (土) SAKAESTA (さかえすた) 訪問

26 日 (水) とつか区民活動センター 訪問

5 月

1 日 (月) 横浜市自殺対策計画策定検討会 出席

2 日 (火) 富岡東地域ケアプラザ 訪問

5 日 (木) 横浜氷取沢高校 訪問

9 日 (火) 根岸中学校 訪問

11 日 (木) 汐見台中学校 訪問

17 日 (水) 金沢中学校 訪問

24 日 (水) 金沢高校 訪問

24 日 (水) 金沢総合高校 訪問

27 日 (土) ぽによ+夏休み説明会

30 日 (火) 富岡東地域ケアプラザ 訪問

31 日 (水) 第一回子ども支援協議会 出席

6 月

1 日 (土) ファーム ジャがいも掘りイベント

7 日 (水) 磯子区館長連絡会 出席

8 日 (木) 磯子区民児協三役会 出席

9 日 (金) 金沢高校 訪問

14 日 (水) 金沢区中学校校長会 出席

14 日 (水) 磯子区民児協定例会 出席

15 日 (木) 洋光台第二中学校 訪問

19 日 (月) 青葉区民児協 セミナー講師

19 日 (月) 磯子区自立支援協議会本部連絡会 出席

22 日 (木) 第 1 回南部地域若者支援連絡会開催

20 日 (火) 磯子区 NPO 連絡会 出席

30 日 (金) 戸塚区生活支援課セーフティネット会議 出席

7 月

7 日 (金) 横浜市自殺対策計画策定検討会 出席

10 日 (月) 磯子区ボランティア連絡会 出席

13 日 (木) カナカツ思春期セミナー開催

14 日 (金) 児童相談所相談調整係合同研修会 出席

特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

19 日（水）横浜美術館 訪問
 20 日（木）横浜市電保存館 訪問
 20 日（木）はっちネット定例会 出席
 24 日（水）八景島シーパラ遠足
 30 日（火）クレイジージャーニーin 石巻（～8 月 1 日）
 8 月
 2 日（水）磯子区館長連絡会 出席
 7 日（月）磯子区セーフティネット会議 出席
 10 日（木）横浜市自殺対策計画策定検討会 出席
 22 日（火）第 1 回磯子区スイッチ ON いそご推進会議 出席
 23 日（水）R5 年第 1 回子どもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
 24 日（木）戸塚定時学校運営協議会 出席
 26 日（水）八景島シーパラダイス 遠足
 9 月
 5 日（火）磯子区 N P O 連絡会 出席
 11 日（月）栄区生活支援課セーフティネット会議 出席
 12 日（火）金沢区生活支援課セーフティネット会議 出席
 12 日（火）磯子区民児協連絡会 出席
 16 日（土）カナカツ・イソカツ合同企画「職業人セミナー」開催
 22 日（金）磯子区自立支援協議会精神連絡会 出席
 21 日（木）磯子区はっちネット広報部会 出席
 24 日（日）いそごまつり参加
 25 日（月）磯子区ケアプラ所長会議 出席
 28 日（木）第 2 回南部地域若者支援連絡会開催

 10 月
 4 日（水）磯子区館長連絡会 出席
 4 日（水）戸塚区セミナー開催
 11 日（水）磯子区自立支援協議会 出席
 19 日（木）栄区セミナー開催
 21 日（土）金沢区民まつりいきいきフェスタ参加
 24 日（火）横浜市自殺対策計画策定検討会 出席
 11 月
 7 日（火）～11 日（土）第 8 回カナカツ美術展開催
 9 日（木）金沢区セミナー開催
 12 日（日）青少年指導員主催 いそごこどもまつり参加
 15 日（水）磯子区セミナー開催
 16 日（木）磯子区はっちネット定例会 出席

特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

16 日（土）放課後ドラマぽによ+2024 年度第 1 回保護者会
 24 日（金）磯子区自立支援協議会・精神連絡会 出席
 25 日（土）イソカツ思春期セミナー開催
 30 日（土）2025 年度放課後ドラマぽによ+入会説明会
 30 日（木）港南区セミナー開催
 12 月
 1 日（金）磯子区 NPO 連絡会 出席
 6 日（水）磯子区館長連絡会 出席
 7 日（木）金沢区セーフティネット会議 出席
 13 日（水）根岸中学校 訪問
 22 日（日）クリスマスフェスタ
 18 日（月）戸塚区セーフティネット会議 出席
 19 日（火）神奈川県子ども・若者支援連携会議（横浜・川崎地域ブロック）出席
 2024 年
 1 月
 16 日（火）栄区セーフティネット会議 出席
 22 日（月）磯子区セーフティネット会議 出席
 23 日（火）～27 日（土）第 6 回イソカツ美術展開催
 2 月
 6 日（火）第 2 回磯子区スイッチ ON いそご推進会議 出席
 7 日（水）磯子区館長連絡会 出席
 15 日（木）横浜市立大学 訪問
 16 日（金）自立支援協議会 精神連絡会 出席
 17 日（土）いそご多文化共生ラウンジ 訪問
 19 日（月）ボランティア連絡会 出席
 21 日（水）戸塚定時学校運営協議会 出席
 3 月
 7 日（金）ぽによ+修了式「きらきらぽによパーティー」
 7 日（木）第 3 回南部地域若者支援連絡会開催
 6 日（水）たきがしら会館 訪問
 13 日（水）第二回子どもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
 15 日（土）2024 年度第 2 回放課後ドラマぽによ+保護者会、新入生歓迎会
 19 日（火）磯子区 NPO 連絡会 出席
 25 日（月）戸塚高校定時制 訪問

<2024 年度 助成実績>

- * 横浜市地域ユースプラザ事業（よこはま南部ユースプラザ）
- * 横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点（カナカツ）
- * 横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 磯子区青少年の地域活動拠点（イソカツ）
- * 横浜市親と子のつどいの広場事業（子育てスポットくすくす）
- * 子どもの居場所づくり推進委託事業
- * 清水育英会 × 中央共同募金会助成金
- * 磯子区ふれあい助成金
- * 善意銀行配分金